

第7回加賀市自転車利用環境協議会 議事概要

平成31年3月27日(水) 14:00~16:00

加賀市役所別館 302・303 会議室

【次 第】

1. 開 会
2. 建設部長挨拶
3. 会長選出
4. 会長挨拶
5. 報告
 - 1) 平成30年度自転車利用環境向上に向けた施策の実施報告
6. 議 事
 - 1) 自転車安全条例(素案)について
 - 2) Facebookを活用した情報発信について
7. 閉 会

【出席者】

区分	氏名	所属	出欠
学識 経験者	高山 純一	金沢大学 教授	出席
	三国 千秋	北陸大学 名誉教授	出席
	三国 成子	NGO団体 地球の友・金沢	出席
各種 関係 団体	宮本 昭夫	加賀市区長会連合会 理事	出席
	西野 忠夫	加賀市身体障害者福祉協会 会長	出席
	大杉 靖代	加賀市老人クラブ連合会 女性部長	—
	嶋中 広美	加賀市女性協議会 交通安全部長	—
	北村 清美	加賀市PTA連合会 母親委員長	出席
	西出 正光	加賀商工会議所 専務理事	出席
	佐野 立子	(社)加賀市観光交流機構 加賀市観光情報センター 所長	出席
	梶 宣昭	加賀市自転車協会 理事長	—
	稲手 彰穂	加賀まればと交流協議会 サイクルプロジェクト リーダー	出席
	橋本 真琴	加賀トリアスロンクラブ	出席
交通 事業者	茜 栄成	加賀温泉バス株式会社 取締役社長	出席
	工合田 修身	加賀第一交通株式会社 代表取締役	—
教育 関係	中川 素子	加賀市内高等学校連絡協議会 代表	代理出席 (土山教頭)
	左古 学	加賀市校長会 会長	—
関係 行政 機関	藪上 正樹	石川県大聖寺警察署交通課 課長	出席
	川原 克美	国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課 課長	出席
	山崎 章	石川県大聖寺土木事務所 所長	代理出席 (能登次長)
	眞田 茂樹	加賀市建設部 部長	出席

【会議の様子】



—議事内容—

1. 開会

事務局)

只今より第7回加賀市自転車利用環境協議会を開会いたします。本日はご多用のところお集まり頂きありがとうございます。司会進行を努めさせて頂きます都市計画課の高辻と申します。よろしくお願います。郵送した委嘱状につきまして、委嘱の期間を一年で記載しておりましたが、協議会規約第4条では二年となっておりますので、訂正したものを皆様のお手元に配布いたしました。ご査収ください。

それでは会議に先立ち、建設部長、眞田茂樹がご挨拶を申し上げます。

2. 建設部長挨拶

眞田部長)

皆さんこんにちは。高山先生をはじめ委員の皆様には年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本協議会は今回で第7回ですが、前回の開催は、昨年3月21日で、ちょうど一年ほど経ちました。少し時間が空いたので、現在の状況について説明します。昨年の6月に自転車活用推進計画が閣議決定されましたが、東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえた計画となっています。この計画では、4つの目標があり、まず1つ目は、自転車交通の役割拡大による都市環境の形成、2つ目は、サイクルスポーツの振興による健康長寿社会の実現、3つ目は、サイクルツーリズムの推進による観光立国の社会の実現、最後に、自転車事故のない安全で安心な社会の実現とあります。これは、2年かけて同じくらいの時期に策定した加賀市自転車のまち推進計画にある安全便利、健康、楽しく、環境の4つの目標と方向性は同じではないかと思えます。

さて、計画を策定してから一年間、加賀市は何をしていたかといいますと、サイクリングルート路面表示を約10km整備しました。また、新幹線開業に向け加賀温泉駅からの県道を都市計画決定する中で、自転車通行空間の確保を考慮した計画としました。

私事ですが、昨年の10月頃に加賀まれびと交流協議会主催の、エスコートライダー養成講座に参加することがきっかけで、自転車を購入しました。高額だったので頻繁に乗らなければいけないと思い、最近では三国までの往復50kmほど乗れるようになりました。小旅行気分を感じることができ、体を動かすので健康にもいいと感じております。

本日は、計画を進めるにあたり忌憚のないご意見を賜りたく、また、自転車利用の促進活動にお力添えをいただきますようお願い申しあげて開会の挨拶にかえさせていただきます。

3. 会長選出

事務局)

それでは、本日の資料をご確認ください。「第7回の議事次第」、「加賀市自転車利用環境協議会協議会規約」、「加賀市自転車利用環境協議会名簿」、資料①の「平成30年度自転車利用環境向上に向けた実績報告」、資料②の「加賀市自転車安全利用推進条例(案)の主要項目について」、資料③の「加賀市自転車利用環境協議会フェイスブックページに関する取扱い要領(案)」、資料④の「フェイスブック登録及び投稿マニュアルについて」、その他、「いしかわ加賀サイクルツーリズムセミナー&体験会」、「温泉ライダーin

加賀温泉郷」、「ウィーラーズスクール」のフライヤーと「自転車走行空間に関する要望書」です。不足はございませんでしょうか。

続きまして、本協議会の委員をご紹介します。

はじめに、金沢大学 教授 高山純一 様。次に、北陸大学 名誉教授 三国千秋 様。次に、NGO 地球の友・金沢 三国成子 様。次に、加賀市区長会連合会 宮本昭夫 様。次に、加賀市身体障害者福祉協会 西野忠夫 様。次に、加賀市 PTA 連合会 北村 美 様。次に、加賀商工会議所 西出正光 様。次に、加賀市観光情報センター 佐野立子 様。次に、加賀まれびと交流協議会 稲手彰穂 様。次に、加賀トライアスロンクラブ 橋本真琴 様。次に、加賀温泉バス株式会社 茜栄成 様。次に、加賀市内高等学校連絡協議会 中川素子 様代理の 土山 様。次に、まだお見えになっておりませんが、大聖寺警察署 藪上正樹 様。次に、国土交通省金沢河川国道事務所 川原克美 様。次に、石川県南加賀土木総合事務所 山崎章 様代理の 能登 様。なお、加賀市老人クラブ連合会 大杉靖代 様、加賀市女性協議会 嶋中広美 様、加賀市自転車協会 梶宣昭 様、加賀第一交通株式会社 工合田修身 様、加賀市校長会 左古学 様には、本日欠席のご連絡をいただいております。

以上でございます。

続きまして、本協議会の会長を選出します。選出方法は、協議会規約第 5 条において委員の互選によるとしておりますが、これまで会長を務めて頂いておりました、高山委員に引き続き会長を務めて頂くことを事務局より提案します。委員の皆さんよろしいでしょうか。高山委員よろしいでしょうか。ご異議がなければ、ご承認の皆様の拍手で確認させていただきます。

(委員拍手)

事務局)

それでは会長は高山委員にお願いいたします。次に副会長ですが、規約では副会長は会長が指名するとなっております。高山会長いかがでしょうか。

高山会長)

三国千秋委員に副会長をお願いしたいと思います。

事務局)

三国千秋委員よろしいでしょうか。それでは副会長は三国千秋委員にお願いいたします。

(委員拍手)

事務局)

なお、副会長には専門部会長も兼務していただきます。では、ここからの進行は高山会長にお願いいたします。

4. 会長挨拶

高山会長)

引き続き会長を務めさせていただきます。

春になって暖かくなると、自転車に乗るのが気持ちよくなるのではないかと思います。我が家にも自転車はあるのですが、クロスバイクやロードバイクではないので、なかなか遠出というのは難しく、5km程が限界かなと思います。

昨日、石川県のサイクリング協議会があり、そこで質問したのですが、自転車活用推進法ができ、自転車活用推進計画というものを各自治体が作らないといけなくなりました。その計画は県のみ作ればいいのかと思い質問したところ、各自治体が各々で作らなければいけないという解答でした。それを思うと加賀市は先駆けてこの協議会を立ち上げ、計画を作っているので一歩も二歩も先を行っているのではないかと思います。

国の推進計画と加賀市の計画は同じだと先ほど建設部長がおっしゃいましたが、先見の明があり、自転車利用に対して非常に意識が高いと思いました。また、加賀市は、大同工業が木製の自転車のリムを作った発祥の地だということもあるので、これを発信していけたらと思います。

本日は、一年間の成果及び今後の方針について説明があるようですので、何なりとご意見をいただければと思います。

では、早速議事に入りたいと思います。議事につきましては次第に沿って進めていきたいと思います。まず、平成30年度自転車利用環境向上に向けた施策の実施報告について、事務局より説明をお願いします。

5. 報告

1) 平成30年度自転車利用環境向上に向けた施策の実施報告

事務局)

(説明)

高山会長)

何かご意見、ご質問等ありませんか。

三国成委員)

一番目の里山里海サイクリングルート of 路面表示について、石川県の整備基準で整備をしたのか教えて欲しい。富山県では表示間隔が短く表示されているが、石川県に入ると表示間隔が空きすぎてわかりにくいということを聞いたので、加賀市はどの様に整備したのか教えて欲しい。

事務局)

基本的には石川県と同じで1km間隔で路面表示を付けていますが、サイクリングルート of 路線は、加賀市の自転車周遊ルートになっていますので、自転車マークと矢印も、整備しており県の整備基準よりは、分かりやすく整備しています。

三国千委員)

計画を作ってから 1 年経って、どのようになったのか気になって聞かせてもらいました。事務局が土木課ということで、どちらかというとハード面での整備がメインだったと思います。ただ、10km も整備したことはすごいと思いました。もう 1 つ注目したのは事故が減ったということです。一番目の安全便利の指標として事故件数をあげたのもとてもよいことだと思いました。金沢の事例で、事故件数は去年 250 件あり加賀市と比べて 10 倍以上あったのですが、それでも 10 年間で 65%減となっています。昔は 600 件 700 件あったものが半減し、30 年度のデータは 70%減となりました。原因や理由ははっきりとわからないのですが、一般市民に正しい交通ルールが浸透したのではないかと思います。ラインが引いてあるところは自転車が走るところで、クルマが遠慮して走る、自転車もラインの中を走る、狭い道が多いので車も減速するというので減ってきたのではないかと思います。それを市民の人たちに理解してもらうには 3、4 年必要だと考えます。

もう一点、金沢では、去年 10 年ぶりに 100 件程度の事故調査を行ないました。その中で、ある特徴が見えてきました。それは、クルマの抜け道になっているところで何回も事故が起きているということです。一般的な交通マナーの周知では現在の 13 件から減らすのはかなり難しいと思います。ピンポイントでインフラを見て事故の分析を行なわなければいけないと思います。

最後に、健康や環境についてですが、役所は縦割りで事務局である土木課が関係各課に聞いてきての報告となっています。自転車施策を始めてから 10 年経った金沢で、言われているのは、いろんな課やいろんな人たちとの連携が必要だということです。連携について強く言えるのはこの協議会になってくると思いますので、この場をもっと生かして総合的に進めて欲しいと思います。

三国成委員)

公共交通との連携を考えたときに、加賀市でも愛媛県松山市のように、バスの前に自転車を 2 台ほど置けるようなラックを取り付けたり、ミニベロのような小型の折りたたみ自転車の持ち運びができるのか、または、タクシーに自転車をかけられるような装置を取り付けたりといったことができるのか等、具体的な提案をしなければ先に進めないと思うので今後進めていく中で参考にして欲しいと思います。

佐野委員)

先ほど三国千委員からもありましたが事故件数の 13 件の内訳について、観光客なのか、地元の人なのかを調べているかお聞きしたい。また、調べていないのであれば、近年レンタサイクルの利用者が増えているので、観光客に事故がおきやすい場所等を注意喚起するためにも、誰が、どのようところで事故を起こしたかを調べて欲しい。

三国千委員)

金沢は外国人観光客の数がすごく増えています。加賀市でも新幹線が開業するにあたり間違いなく外国人観光客が増えると思います。そういった中で、金沢では近年自転車事故が少し増えたのですが、その理由として、外国人が公共レンタサイクルを利用することが増えたからではないかという説もあります。

また、サイクルツーリズムという言葉が全国で言われています。今年の 1 月、中国地方の 5 県を

回った際に、台湾、インドネシア、欧米、中国などの人たちをターゲットとした小さなビジネスがもう始まっているということを聞きました。その内容は、旅館の客室に自転車を持ち込むことや、電車に持ち込む等ではないようで、富裕層の人たちは、自転車を運ぶための車をチャーターしているみたいです。これが驚くほど早く日本に入ってきているということを、広島でも松江でも、岡山でも聞きました。なので、新幹線開業の4年後に向けていろいろなことを勉強してもらえばいいと思います。

ちなみに、今年北海道の札幌で自転車の全国会議を開催するのですが、その1つのテーマはサイクルツーリズムで、いろいろな形態がある観光の自転車利用について間違いなくひとつの流れとなっています。

川原委員)

資料の事故件数についてですが、件数が少ないので事故の場所の見える化をすると、この協議会の中でもいろいろなアイデアが出るのではないかと思います。そして、事故件数が13件とだいぶ減っているので目標値ももう少し更新してもいいのではないかと思います。これ以上となると、もっと分析しなければいけないと思うのですが、警察と協力して、見える化することにより分析ができるのかなと思います。

新幹線高架下の駐輪上の計画について、構想段階でいいのでどのような場所に配置するか情報提供してもらおうと、その場所が適切なのかどうか等意見を聞けると思います。また、フォローアップ値のレンタサイクルの数値についてもどの場所でどれくらい借りられているか等、もう少し情報を付加してもらおうと、いろんな委員の方がいらっしゃいますのでいろいろな意見が出ると思います。次回の協議会でまた検討いただきたい。

高山会長)

今回1年経って、実績報告がされました。これでもわかりやすいのですが、17の施策毎に年度毎にできたこと、できなかったことの見える化として、「○、△、×」で標記していただいたらわかりやすいかと思います。また、実績値では、「延べ～」とあるので、表形式での書き方のほうがわかりやすいと思います。できれば毎年これを積み上げていき総延べ人数等にしたほうがいいと思いますので、検討いただければと思います。

また、宿泊の自転車対応は、とても重要なことだと思います。ぜひ加賀市は自転車に対して特別な思いで、おもてなしでお迎えするんだということをもっと前面に出していくことが大事なのではないかと思います。

6. 議 事

1) 自転車安全条例(素案)について

高山会長)

続きまして協議事項に入りたいと思います。「自転車安全条例(素案)について」事務局より説明をお願いします。

事務局)

(説明)

三国千委員)

金沢の森本で小学校 5 年生が大きな事故に合い、その際ヘルメットをかぶっていませんでした。その後、親の働きかけもあり、この小学校では、ほぼ全ての子どもがヘルメットを着用しています。そこで、質問ですが、現在加賀市でどれくらいの子どもがヘルメットの着用をしているか把握していますか。

事務局)

学校に直接聞いたわけではないですが、恐らく学校もヘルメット着用については把握していないと思います。学校等の協力が必要ですが、来年度には、調査を検討したいと思います。

高山会長)

ホームページを見ると、自転車の条例について、策定している都道府県または市町村は、昨年 4 月 1 日時点で 76 自治体となっており、石川県内では金沢市だけで、加賀市が策定すれば県内 2 例目ということになります。ちなみに全国で一番早かったのは東京都板橋区となっています。

三国成委員)

保険の加入義務化で、1 年後にどれだけ保険に加入したかということ調べることはできるのでしょうか。

事務局)

小学生については、PTA 連合会等で斡旋していたかと思うので、そちらで確認できるかと思います。しかし、一般の利用者については、今のところ手立ては思いあたりません。

三国成委員)

私は京都市の自転車に関する審議委員をやっている、前回の審議会でも、保険加入者がどれだけ伸びたかという報告を受けました。京都市では保険会社との提携のほか、自転車の小売業者も積極的に動いていたということも聞きましたので、保険業者や自転車小売業者と提携することで件数を把握できるのではないかと思います。その手法を京都市から学ぶといいと思います。

高山会長)

ちなみに京都府は平成 20 年 4 月、京都市は平成 23 年 4 月に条例を制定しており早くから取り組んでいるようですね。恐らく制定してからしばらくしてからそういった数値化をしているのではないかと思います。

三国千委員)

金沢市では、高校生などに保険に入ってもらおうよう PR することに苦勞しているようなので、情報

を聞いてみてはどうかと思います。条例作成だけで保険に加入するということはないので、どうやって周知していくかが大事だと思います。

加賀市の高校生は、自転車通学は可能ですか。また、保険加入の確認はしていますか。

中川委員代理土山氏)

自転車通学は認めています。しかし、義務付けはないので、保険加入の確認はしていません。

高山会長)

義務付けが無いとのことですが、条例ができれば義務付けになりますので検討していただければと思います。

ちなみに金沢大学は、学生に自転車の駐車許可証を出しているのですが、保険に入っているか、過去に事故を起こしていないかなど確認した上で許可証を発行しています。

三国成委員)

クルマの保険の特約などで、家族も対称とした、安く自転車の保険をかけられるものもあるので、そういったものを利用すれば、わざわざ自転車のためだけに保険をかけなくても済みます。いろいろな保険の加入の仕方があるので、そういった情報も提供したら良いと思います。

高山会長)

生命保険も家族全員が対象であったりするので、実は知らずに、自転車の保険に入っていたりもするので、一度確認してもらおうと良いと思います。

では、自転車安全条例（素案）につきましてはいくつか意見が出ましたので参考にしてもらえればと思います。

2) Facebook を活用した情報発信について

高山会長)

それでは議事の2番目「Facebook を活用した情報発信について」事務局より説明をお願いします。

事務局)

(説明)

高山会長)

何かご質問等ございますか。

事務局)

(追加説明)

高山会長)

この取扱要領について、承認してよろしいでしょうか。

各委員)

(異議なし)

高山会長)

では、協議会として、この取扱要領で承認したいと思います。

三国千委員)

今までの話を聞いての提案です。金沢では、金沢自転車ネットワーク協議会というものがあり、高山先生が会長をされ、私も委員をやっているのですが、そこで年1回の勉強会を行なっており、加賀市でもこういった勉強会をやってはどうかと思います。内容としては、4年後の新幹線開業に向けて、自転車の観光客をどう受け入れるかというテーマや、加賀まればと交流協議会等の団体の活動報告のほか、意見交換会を行なってはどうかと思います。ここで聞いている事は事務局が何をやったかということだけを聞いていますが、協議会のメンバーが自ら行なったことの報告会や、少し予算がかかるかもしれませんが外部から講師を呼んでの勉強会など、あまりお金がかからない方法で、いろいろやり方はあると思います。この協議会にはいろんなメンバーがいるということを手く生かして、加賀市自転のまち推進計画を一般市民に理解してもらい活用してもらうにはどうしたらいいかということを考え運用していく段階だと思います。PRの方法については、他のところがやっていることを勉強しなければいけないと思います。新幹線開業までに、準備を少しずつやっていると、加賀市の中に蓄積ができ、計画のほかに経験が積み重なると思います。

高山会長)

いい提案だと思います。事務局は大変だと思いますが、金沢は年1回ということですので、加賀市では2年に1回でもいいと思います。先ほどの計画は10年、20年の計画なので、最初からやろうと思うと大変だと思いますが、検討してみてください。

稲手委員)

サイクルツーリズムセミナー、温泉ライダー、ウィーラースクール、要望書について説明

眞田委員)

要望書を拝見しましたが、本日出されるものかと思ったら、10月に出ているということに驚きました。市の部分につきましては30年度の予算残があると思いますので、すぐに対応したいと思います。

三国千委員)

自転車が歩道に上がるのを止めることについて、交通量にもよるので警察との協議はすんなりいかないかもしれません。よって、ここを改善することは難しいのではないかと思います。ただし、自転車横断帯の変更はガイドラインでも記載されているので、警察と協力することは可能だと思います。看板については、たくさんあると何を見ていいのかわからないので整理する必要があると思います。

山崎委員代理能登氏)

この要望書は大聖寺土木事務所に出されていたと思うのですが、大聖寺土木としても結局、交通管理者の了解がないとどうにもならないのが現状です。加賀市がこのようにしたいと思っても、警察で難しいと言われれば出来ないので、大聖寺警察署とよく調整しなければいけないと思います。このような要望書があったということは私のほうからも大聖寺土木に伝えたいと思います。

三国成委員)

びっくりしたのが、10月に要望書を提出されて、今まで何の連絡も無かったということです。私が金沢で自転車に係わってとても苦労したのは、道路管理者のところに行っても門前払いに遭い、これは警察に行ってくれ等あちこち行かされたことです。これから自転車のことをやる時は、道路管理者と警察が一体となって、要望する人が何箇所も回らなくてよくなるようにできないか。また、要望書等が上層部まで伝わらないなどもあるので、ワンストップで出来るようにならないかと思っています。

稲手委員)

警察の課長と係長がいらっしゃる時に要望書はどうなっているか話をさせてもらっていたのですが、反応が弱いと感じました。加賀市には自転車のまち推進計画があるので、民意のボトムアップを受け止めてもらうことを期待します。これは諦めていいことではないので、要望し続ける必要があると思っています。

この交差点の現状は、若い方からお年寄りの方までありとあらゆる方が、目的地にその目的のために移動しており、交通ルールはその次になっているように見受けられます。見ていると自分たちは事故を起こさないだろう、毎日通っているからたぶん大丈夫だろうという確証の無い安心、無自覚の悪意を持って利用している人が多いようなので、矢羽根の整備や不要な表示の削除など自転車走行空間の見える化を実現してもらおうと、私たちの活動も前向きに発展していくのではないかと考えております。

三国千委員)

市議員のところに行ってこれをやってくれというのは一般的なやり方だと思います。金沢の事例ですが、地域の皆さんと一緒に暫定的ではありますが、検討会議みたいなものをつくって、高校や中学校の先生、地元の人、自転車の専門の方、学識経験者の方に入ってもらい議論していただく。どれくらい事故が起きているのか、どれくらいの交通量があるのかデータを出して、何回か会議を行なっていくうちに、住民全員が良いという関係が見えてくると思います。要望書を出すことには賛成なのですが、住民、関係者、学校、を巻き込んだ検討会議を作るのが現実的かなと思います。

高山会長)

手間を惜しむと何事もいいものにはなりません。皆さんで考えていかないといけないと思います。こうあるべきだというようなべき論では上手くいかないこともあるので、理想はここがー

歩下がり現実的にはこの段階から進めていくといい方向に行けるのではないかと思います。
今日はぜひぶんいろいろな提案や、これからの課題が見えてきたかと思います。
それでは事務局へ進行をお返ししたいと思います。

事務局)

ご協議ありがとうございました。今回の会議録は、後日皆様に送付致します。内容に疑義がありましたらお申し出ください。第8回協議会の開催は、日程が決まりましたらご案内いたします。本日はご多用のところお集まりいただきありがとうございました。